

新篠津村で
満天の星に出会おう

広大な大地とありのままの自然が魅力の新篠津村。その環境を生かして令和3(2021)年、ふれあい公園に星座観測スポットを設置し、同年から年2〜3回観測体験会を開催してきたが、この度天文台がオープンすることになった。その名も「しんしのつ天文台」。格納庫全体がスライドする長さ約36mの建物に口径50cmの反射望遠鏡を備え、夜はもちろん、昼も観望を行う予定だ。

天文台設置のきっかけのひとつとなったのが、長年教員をしていた山本修さん。中学生のときに私設天文台で観た星空に感銘を受け、「自分も多くの人に星空の魅力を伝えたい」と北海道に来て、望遠鏡を自前で購入し村に寄贈した。村ではその頃、星空観測で村おこしを計画していたそう。お互いの思いがぶつたり一致したのだ。天文台のオープンに合わせて今年には星空観賞イベント「しんしのつ星空エウォッチング」を4回開催。今後の日程はベルセウス座流星群が極大を迎える8月13日(日)、天文台オープンイベントとなる10月、本格稼働する11月を予定している。

この秋、ふれあい公園星座観測場横にオープン!
しんしのつ天文台で
畑の中の星空散歩

札幌から車で40分。自然豊かな新篠津村に天文台がオープンする。新篠津村だからこそ観ることができる満天の星の瞬きを楽しもう。



しんしのつ天文台
新篠津村第48線北13
TEL.0126-57-2111(新篠津村役場)



村のHPで
最新情報発信中★
天文台専用HPも
近々公開予定!



北海道新篠津村
PRキャラクター
しんしのつ
おこめちゃん

地域おこし協力隊の山本 修さんに聞く



奈良県の中高一貫私学の教師をしていたが、定年退職を機に北海道へ。天文台の専任スタッフとして今年から村の地域おこし協力隊に就任。

しんしのつ天文台を楽しむ
3つのポイント!

1 公開されている中では道央圏最大級★
50cm反射式天体望遠鏡を整備



肉眼の約5000倍もの集光力を持ち、滲みなく鮮明に星が観られる口径50cmのカセグレム式望遠鏡を設置します。月面のクレーターや金星、星雲・星団などもしっかり観ることができます。75インチの大型液晶モニターに映してみんなでその美しさを共有することもできるので、ぜひ多くの方に観てもらって、感動を分かち合いたいと思います。

2 大パノラマの星空を観賞★
全国でも稀な360°フルオープン型天文台

天文台は屋根だけでなく周りの壁も一緒にスライドします。イメージとしては建物が動いて望遠鏡全体が現れるという感じ。こうすることで低空にある天体も望遠鏡で観ることができるようになります。ドーム式では味わえない開放感のある天文台で地平線に広がる圧巻の星空を楽しんでほしいですね。そして天文台をきっかけに、新篠津村の新たな観光ブランドである「空のまち」を全国のみなさんにアピールしていきたいと思っています。

3 一般的な天文台とはちょっと違う★
訪れる人たちのふれあいスポットに

天文台が建つ「ふれあい公園」は、農園やパークゴルフ場があり、村内外のみなさんが気軽に訪れる場所です。そんな「ふれあい」の名を生かして、単純に観望するのではなく、星空をきっかけに多くの人が出会い、仲良くなれる天文台になればいいと考えています。